

平成21年12月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年4月27日

上場取引所 JQ

上場会社名 東邦レマック株式会社

コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠井 庄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長

(氏名) 沼田 茂義

TEL 03-3832-0131

四半期報告書提出予定日 平成21年5月1日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第1四半期の業績(平成20年12月21日～平成21年3月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	3,745	—	△36	—	28	—	5	—
20年12月期第1四半期	3,654	△8.7	△90	—	△259	—	△160	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年12月期第1四半期	1.13	—
20年12月期第1四半期	△31.48	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
21年12月期第1四半期	12,209	4,639	38.0	908.92
20年12月期	13,120	4,645	35.4	909.94

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 4,639百万円 20年12月期 4,645百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
20年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の業績予想(平成20年12月21日～平成21年12月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期累計期間	8,107	5.4	55	—	90	—	40	△43.3	7.93
通期	17,952	△0.4	270	14.0	340	226.3	153	0.9	29.68

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第1四半期	5,120,700株	20年12月期	5,120,700株
② 期末自己株式数	21年12月期第1四半期	16,739株	20年12月期	15,239株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年12月期第1四半期	5,104,899株	20年12月期第1四半期	5,110,225株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想に関する事項については、3ページをご参照下さい。

2.当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速を受けて昨年秋以降強まった急速な生産調整には、やや緩和の兆しも見られるものの、企業収益及び設備投資の減少や、雇用情勢の悪化を受けた個人消費の停滞など、景気後退の様相が色濃く残る状況が続いています。

このような状況の中で、当社は婦人靴が全般的に低迷しましたが、増収となりました。

(1) 売上高

当第1四半期の売上高は前年同期比9千1百万円(2.5%)増加し、37億4千5百万円となりました。

(2) 営業損失

売上高の増加により、前年同期比5千4百万円(前年同期は9千万円の損失)の損失減少となりました。

(3) 経常利益

営業外収益のデリバティブ評価益5千3百万円等により、2千8百万円(前年同期は2億5千9百万円の損失)となりました。

(4) 四半期純利益

5百万円(前年同期は1億6千万円の損失)となりました。

なお、当社の売上高は、季節的変動により、1月、2月が端境期に当たるため、第1四半期の売上高及び利益が他の四半期に比べ低くなる傾向があります。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前事業年度末に比べ9億1千1百万円減少しました。主な増減は、流動資産では現金及び預金の増加5千1百万円、受取手形及び売掛金の減少10億5千3百万円があります。投資その他の資産では投資有価証券の減少4千7百万円があります。流動負債では支払手形及び買掛金の減少8億9千3百万円及び短期借入金の減少2億円があります。また、固定負債では長期借入金の増加2億3千3百万円があります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね当初の予定通りに推移しており、平成21年2月6日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日公表分)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、営業損失が5,231千円増加し、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ5,231千円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年3月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,433,801	1,382,777
受取手形及び売掛金	5,312,176	6,365,667
商品	1,768,677	1,680,672
その他	133,931	99,238
貸倒引当金	△22,496	△25,764
流動資産合計	8,626,091	9,502,592
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	598,689	607,629
土地	1,769,151	1,769,151
その他(純額)	71,600	65,813
有形固定資産合計	2,439,441	2,442,594
無形固定資産	21,460	23,704
投資その他の資産		
投資有価証券	555,194	602,947
投資不動産(純額)	303,345	305,583
その他	311,607	297,605
貸倒引当金	△47,637	△54,436
投資その他の資産合計	1,122,510	1,151,699
固定資産合計	3,583,412	3,617,998
資産合計	12,209,503	13,120,590
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,271,227	5,164,803
短期借入金	1,700,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	60,960	—
未払法人税等	45,805	42,799
賞与引当金	105,066	52,533
その他	645,946	772,107
流動負債合計	6,829,005	7,932,243
固定負債		
長期借入金	233,960	—
退職給付引当金	309,497	305,529
役員退職慰労引当金	65,520	62,415
その他	132,436	174,764
固定負債合計	741,413	542,708
負債合計	7,570,419	8,474,952

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年3月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金	838,440	838,440
利益剰余金	2,784,231	2,809,115
自己株式	△9,117	△8,478
株主資本合計	4,575,273	4,600,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	69,524	91,518
繰延ヘッジ損益	△5,714	△46,677
評価・換算差額等合計	63,810	44,840
純資産合計	4,639,083	4,645,638
負債純資産合計	12,209,503	13,120,590

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年12月21日 至平成21年3月20日)
売上高	3,745,651
売上原価	2,973,085
売上総利益	772,566
販売費及び一般管理費	809,412
営業損失(△)	△36,846
営業外収益	
受取利息	1,839
受取配当金	150
仕入割引	3,768
受取賃貸料	7,903
デリバティブ評価益	53,592
為替差益	3,668
その他	5,411
営業外収益合計	76,335
営業外費用	
支払利息	5,065
手形売却損	1,211
貸与資産減価償却費	2,238
その他	2,482
営業外費用合計	10,997
経常利益	28,492
特別利益	
貸倒引当金戻入額	10,067
特別利益合計	10,067
特別損失	
固定資産除却損	451
投資有価証券評価損	13,306
特別損失合計	13,757
税引前四半期純利益	24,802
法人税、住民税及び事業税	40,583
法人税等調整額	△21,529
法人税等合計	19,054
四半期純利益	5,747

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年12月21日 至平成21年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	24,802
減価償却費	18,559
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,067
受取利息及び受取配当金	△1,990
仕入割引	△3,768
支払利息	5,065
固定資産除却損	451
投資有価証券評価損益 (△は益)	13,306
賞与引当金の増減額 (△は減少)	52,533
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,967
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,105
売上債権の増減額 (△は増加)	1,037,629
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△88,005
仕入債務の増減額 (△は減少)	△893,707
その他	△136,210
小計	25,668
利息及び配当金の受取額	759
利息の支払額	△5,045
法人税等の支払額	△35,456
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,073
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△62,000
定期預金の払戻による収入	159,000
有形固定資産の取得による支出	△4,053
その他	△980
投資活動によるキャッシュ・フロー	91,966
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△5,080
配当金の支払額	△29,463
その他	△2,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	62,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,434
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	148,024
現金及び現金同等物の期首残高	1,214,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,362,801

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前第1四半期累計期間 (自 平成19年12月21日 至 平成20年3月20日)
	金額 (千円)
I 売上高	3,654,274
II 売上原価	3,009,676
売上総利益	644,598
III 販売費及び一般管理費	734,755
営業損失(△)	△90,157
IV 営業外収益	25,599
V 営業外費用	194,968
経常損失(△)	△259,525
VI 特別利益	5
VII 特別損失	3,058
税引前四半期純損失(△)	△262,578
法人税、住民税及び事業税	3,170
法人税等調整額	△104,891
四半期純損失(△)	△160,858

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

平成20年12月期第1四半期において、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しているため、前第1四半期累計期間の四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。